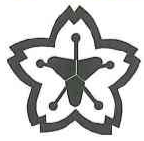


# 大船渡市

## 第9号

平成20年2月20日発行



# 消防団だより

### 主な記事内容

- 消防団長あいさつ、平成20年出初式……………P2
- 龍振鉾業表示証……………P3
- 瑞宝単光章受章インタビュー……………P4
- 末崎小学校防火パレード……………P5
- 赤崎小学校防火作品……………P6

## 平成20年大船渡市消防

# 出初式



### 防火・防災への 心構え新たに！！

## 『火は見てる あなたが離れる その時を』

2007年度全国統一防火標語

編集・発行：大船渡市消防団（大船渡市盛町字木町1-1 ☎0192-27-2119）



# 年頭のあいさつ

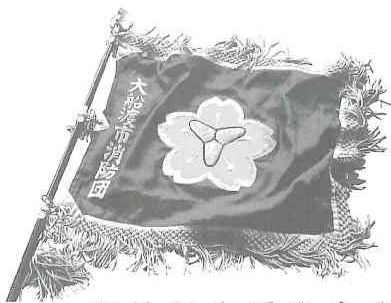
大船渡市消防団長  
紀室 若男

平成二十年の新春を迎えるにあたり、市民の皆様にご挨拶を申し上げます。日頃の消防団活動に対する皆様の深いご理解とご協力に對しまして、心から感謝申し上げます。

さて、平成十九年を顧みますと、被害は少なかつたものの、台風などの自然災害による警戒出動の増加が印象に残った年であったように思います。

一月六日から八日にかけて発達した低気圧の接近による暴風警戒や、観測史上最多となった台風の上陸に伴う暴風雨などで、例年になく多くの災害警戒活動を余儀なくされました。

また、幸いにも被害はありませんでしたが、一月と八月にそれぞれ北大平洋とペルー沖で発生した地震による津波注意報の発表により、十数時間にも及ぶ長時間の警戒を二度も実施しております。



自然災害の発生を防ぐことはできませんが、災害発生を早期に把握し、『滅災』をテーマに迅速な消防団活動を展開していきたいと思っております。

火災に関しましては、抑止目標を十六件に設定し、予防活動に取り組んだ結果、目標を下回る十二件の発生に止めることができました。しかし、残念ながら六月と七月の建物火災で三名の死傷者が出ております。全国的にも増加傾向にある火災による死傷者を当市から一人も出さないよう、婦人防火クラブなどと連携を図りながら、住宅用火災警報器の普及など、さらに予防活動を強化していきたいと思っております。

消防団を取り巻く環境は、団員数の減少などで厳しさを増す一方、火災などの予防活動はもちろんのこと、国民保護法に基づく住民の避難誘導活動など、その任務は多様化しております。我々消防団は、新たな時代に即応しながら、地域に密着し信頼される組織として、団員個々の技術の向上と装備の充実を図り、市民の皆様が「安全・安心」を実感できるまちづくりを目指し存存であります。そのためにも、団員の確保を最重要課題と位置づけておりますので、今まで以上に市民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

終わりに、皆様方ますますのご健勝と、平成二十年が輝かしい年でありますようご祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

## 平成20年大船渡市消防出初式

小寒とは思えない暖かな日差しの中、平成20年の大船渡市消防出初式が、1月6日に盛町商店街と市民体育館を会場に開催されました。消防団員約900人、婦人防火クラブ員約120人をはじめ、総勢約1,100人が参加し、さかり中央通り商店街をまとい振りに続いて分列行進した後、市民体育館に移動して式典に臨みました。例年以上に多くの市民の皆様より激励をいただき、身が引き締まりました。



無火災分団、まとい・ラッパの各団員が表彰されました



見事な演奏を披露しながら分列行進するラッパ隊



式典の表彰補助員として活躍する女性消防団員



### 表彰補助員として活躍した女性消防団員

今回の出初式では、第10分団本部所属の森下あきさん(21/写真左)、畑中麻里さん(21)の2人に、式典の表彰補助員として、活躍していただきました。

制服姿でリリシさを増した2人は、緊張しながらもみごとに大役を果たしました。



まとい組による三本締め

# 龍振鋳業株式会社に 消防団協力事業所表示証交付



昨年の九月二十七日、大船渡市と住田町の連名による消防団協力事業所表示証の交付式が市役所で行われ、龍振鋳業(株)（須藤薫代表取締役社長・本社/日頃市町石橋）に表示証が交付されました。

龍振鋳業(株)には、大船渡市消防団員が十五名、住田町消防団員が八名、計二十三名の消防団員が在籍しており、同事業所の勤務中における消防団活動への配慮や防災活動をおとした社会貢献などを評価し、消防団長の推薦により認定され交付されたものです。

大船渡市での表示証の交付は、昨年三月の太平洋セメント(株)大

## 大船渡市 消防団協力事業所表示証交付



表示証を手にする須藤薫社長(写真右)と握手を交わす甘竹勝郎市長・小泉さく子住田町副町長



交付式終了後、式典参加者全員での記念撮影

船渡工場に次いで二社目で、今回は、住田町消防団員も多数在籍していることから、大船渡市と住田町の連名での交付となりました。

勤務中の消防団活動や、消防ポンプ操法訓練など長期間に及ぶ訓練などは、事業所の理解と協力なくしてはできません。

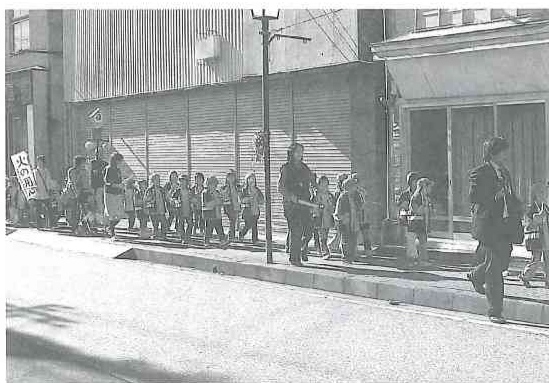
消防団では、今後も引き続き事業所に対し消防団活動への理解と協力をお願いするとともに、消防団員の確保に向け、積極的に同制度を活用していきたいと思っております。



盛保育園のシンボル、消防車の前でピース!

昨年の十一月十二日、盛保育園（小向牧子施設長）四才児〜年長児による防火パレードがさかり中央通り商店街において行われました。このパレードは、盛保育園児で組織されている幼年消防クラブが、日頃の防災予防活動を評価され、平成十五年十一月に日本防火協会より表彰状を受賞したのがきっかけで、毎年十一月に行っているものです。

## 盛保育園幼年消防クラブ 防火パレード



商店街を元気にパレードする園児たち

パレードでは、「火の用心」と三つの約束

- ★ 私たちは火遊びはしません
- ★ 火のそばでは遊びません
- ★ 火事を見つけたら大人の  
人に知らせます

を唱えながら、地域の皆さんに防火を呼びかけました。

可愛いかけ声に、多くの沿道の方から、温かい声援を頂きました。

(担当/団本部 出羽 司き)

元副団長 志田長四郎さん・伊藤悠紀智さん

# 「瑞宝単光章」受章



平成十九年の叙勲伝達式が、東京都港区虎ノ門にある日本消防会館内「ニッショウホール」において挙行されました。大船渡市消防団からは、春の叙勲で志田長四郎さん、秋の叙勲で伊藤悠紀智さんがそれぞれ瑞宝単光章を受章されました。受章しての感想などをお聞きしましたのでご紹介します。



志田長四郎さん(82)は、昭和十四年に赤崎警防団に入り大船渡市消防団第五分団長を経て、昭和四十七年からは副団長として地域防災に貢献されました。三十八年間の団活動では、チリ地震津波や遭難した漁船の救助などを経験。実業である漁業の傍ら玄関には、なんと帽子を置いて火災に備えただけでなく、津波襲来時を想定した避難訓練にも力を入れ、蛸ノ浦地域の防災活動の発展に尽力されました。引退後も、これまで出会った防災関係者とのつながりを大切に

ています。

**■受章された感想をお願いします。**

▼この度の叙勲受章は、全く予期していなかったため大変驚きました。

権威ある勲章なので私が受けていいものかと考えましたが、戦死した地域の仲間、ともに苦労した団員たちと一緒にいただいた叙勲だと思っております。

**■消防団に入団したきっかけを教えてください。**

▼昭和十四年三月に赤崎村蛸ノ浦尋常高等小学校を卒業した十四歳の時に当時、自宅のすぐ前の屯所にあった腕用ポンプを引く作業を手伝ったのが始まりでした。その時、一つ上の先輩から「お前は体格がいいから消防団に入団してくれ」と辞令書を渡されたのを憶えています。

**■入団した当時の様子を教えてください。**

▼団員数が少なく入団してすぐに、腕用ポンプ操作員として活動しました。

当時は、火災も多かったのですが、船の遭難が特に多く捜索活動に何度も出動したのを思い出します。

**■消防活動で忘れられない事はなんですか。**

▼チリ地震津波や大船渡町で強風下に発生した大火などいろいろな大災害を経験しましたが、その中でも赤崎町佐野地区で発生した建物火災の記憶が鮮明に残っています。真冬に発生したその火災はホース六本を使用して消火したのですが、その日は厳寒だったため、ホースがバリバリに凍ってまるめることができず、二〜三m位に折つて、仲間の団員たちとつるつるの足場の上で震えながら収納したのを生涯忘れることができません。

**■最後にこれからの消防団に望むことは？**

▼団活動する上で、幾多の苦難もあると思いますが、社会貢献に誇りを持って住民の生命財産を守るため頑張っていきたいと思います。

(担当/団本部 森 松男)



伊藤悠紀智さん(79)は、昭和二十一年に日頃市警防団に入り大船渡市消防団第九分団長を経て、昭和五十三年からは副団長として地域防災に貢献されました。三十五年間の団活動では、チリ地震津波や三陸町の山火事などを経験。

地域防災活動では五葉山山岳救難救助隊を結成し、山中を捜索し多くの遭難者を救いました。

農業の傍ら大船渡市農業委員会会長などを歴任。現在は、鷹生ふるさとの味を守る会の会長として、地域農産物の消費拡大にも努められています。

**■受章された感想をお願いします。**

▼大船渡市消防団を退団してから早二十五年が経過しておりますが、最近のことのように思われます。この度の叙勲受章など全く夢にも思わず、大変びっくりいたしました。特別な功績を残した訳でもあり

ませんが、関係各位及び地域の皆様のご協力があればこそで感謝を申し上げます。

### 消防団に入団したきっかけを教えてください。

昭和二十一年十一月二十四日に軍隊から復員してちょうど一週間に消防のはんてんを先輩が届けてくれました。一言「これからよろしく頼む」と言っただけだったので、その当時は団員が多く、しかも長男でなければならぬなど、団員になるには大変狭き門だったことを憶えています。

### 入団した当時の様子を教えてください。

▼当時は腕用ポンプで、しかも鉄輪の荷車だったので、消防演習などには日頃市町から盛町へデコポコ道を二時間もかけて引いて歩いた事など、鮮明に憶えております。今思えばそれが、消防人としての体力づくり、訓練だったと思えます。そのおかげかポンプ操法の県大会に出場し、腕用の部で上位入賞した事などを思い出します。

### 消防活動で忘れられない事はありますか。

▼やはり昭和三十五年五月のチリ



市役所で行われた伝達式の様子

地震津波の事が忘れられません。今日の様に交通の便利な時代ではなく、日頃市町から大船渡町の災害現場へ一週間もいるような交通手段で応援に向いた事など、鮮明に憶えております。

また、五葉山岳救難救助隊を結成し活動した事も、今思えば懐かしく思い出します。

### 最後にこれからの消防団に望むことは?

▼消防団員は、それぞれの職場に勤めながらの活動で大変だと思えます。昔からの義勇消防の精神を忘れずに、市民の生命財産を守り、市民に親しまれる消防人として貢献することを切望いたします。

(担当/団本部 金野 正光)



バトン部、鼓笛隊を先頭に細浦魚市場前をスタート

今年の十一月十三日、大船渡市立末崎小学校(大友富好校長)の五・六年生一七名で構成する少年消防クラブは、細浦魚市場から小学校まで、バトン部、鼓笛隊を先頭に防火パレードを行いました。



このパレードは、毎年十一月中旬に基石コープ・細浦コースで交互に実施しているもので、児童たちは、クラスごとに防火標語を選定し、元氣良く防火を呼びかけながらパレードを行いました。パレードには、少年消防クラブ員のほかに、末崎町婦人防火クラブ員三〇名、消防団第四

# 少年消防クラブ 末崎小学校 防火パレード

総勢一八三名と消防団車両六台が参加しました。末崎地区の防火に対する意識の高さがうかがえます。同クラブは、児童の防火意識の高揚を目的に昭和五十五年に結成し、昭和六十年に全国優良少年消防クラブ表彰を受賞、平成十六年には大船渡市消防団長表彰を受賞しており、積極的な活動が高い評価を得ています。



末崎婦人防火クラブ、第4分団消防団員・車両もパレードに参加

### お礼の言葉

少年消防クラブ代表 大和田 竜也

今日は、みんながパレードをして地域の皆さんに防火を呼びかける事ができ、とても良かったと思います。ほくたちは、火遊びなどを絶対にしないことを誓い、末崎小学校少年消防クラブの一員としてこれからも地域の防火活動に協力していきたいと思えます。消防団の皆様、婦人防火クラブの皆様、パレードに協力していただき本当にありがとうございました。

(担当/団本部 近藤 良也)

# 赤崎小学校防火作品

今年度は赤崎小学校（鈴木克己校長）の児童たちが防火写生及び防火標語を作成しました。防火写生会では、あいにくの雨模様となり救急車、化学車、タンク車及びはしご車の見学のみとなりましたが、上手に仕上げていただきました。数多くの作品の中から一部を紹介します。

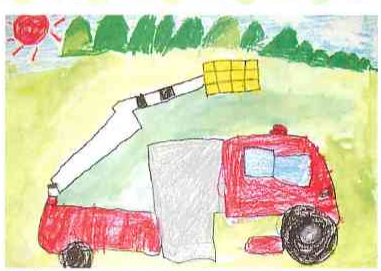
## 防火標語

赤崎小学校 火の用心 出かけるときは火を消そう 四年 一組 山村 聖人	赤崎小学校 あぶなとまわりついたら火 四年 一組 野々村 力	赤崎小学校 もうすぐ冬だ ストーブでたつ気をつけて 四年 一組 鈴木 玲奈	赤崎小学校 火の用心 出かけるときは火を消そう 四年 一組 山村 聖人	赤崎小学校 火の用心 出かけるときは火を消そう 四年 一組 山村 聖人	赤崎小学校 火の用心 出かけるときは火を消そう 四年 一組 山村 聖人
赤崎小学校 ねる前の チークが肝心 かスコンロ 五年 一組 飯島 優美	赤崎小学校 君の意志 まわりの炎 消す心 六年 一組 山口 義晴	赤崎小学校 たしかめて たったひとつの その火でも 四年 一組 金野 由季	赤崎小学校 消し忘れ あなたと家族の 命とり 五年 一組 金野 佳奈子	赤崎小学校 その思いこぶが おお 火事へ 五年 一組 佐藤 志織	赤崎小学校 IH 電気だけでも 気をつけて 六年 一組 菅原 莉大
赤崎小学校 大きな火 時間がたてば 大きな火 五年 一組 千葉 聖希	赤崎小学校 長電話 おなべのことも 考えて 六年 一組 吉田 知世	赤崎小学校 わたしたち 絶対持とう 消す心 六年 一組 組石 橋 涼	赤崎小学校 消し忘れ あなたと家族の 命とり 五年 一組 金野 佳奈子	赤崎小学校 その思いこぶが おお 火事へ 五年 一組 佐藤 志織	赤崎小学校 IH 電気だけでも 気をつけて 六年 一組 菅原 莉大



真剣に消防車を見学する児童たち

## 防火写生



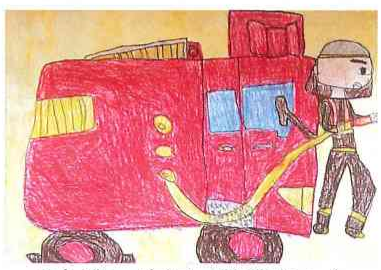
1年生 やまぐち たけるくん



1年生 やまさ ともかちゃん



1年生 やまむら あすかちゃん



2年生 広沢 花恋ちゃん



1年生 いしかわ ふみやくん



1年生 さとう はやくん



2年生 千葉由紀江ちゃん



2年生 志田 芳樹くん



2年生 金野 洋二郎くん

所属 第4分団第4部

氏名 上部 猛

年令 32 歳

特技 腕相撲

趣味 競馬

好きな女性のタイプ . . . . .

消防団に対しての希望

頑張って参加しますので、  
よろしくお願いします。

先輩から一言

ガンバレ!! 32歳



所属 第5分団第2部

氏名 和田 利雄

年令 19 歳

特技 覚えなくても良い  
事を覚える。

趣味 常に勝利を意識すること

好きな女性のタイプ

元気で活発な人

消防団に対しての希望

役に立てるよう頑張りますので、  
よろしくお願いします。

先輩から一言

皆さん消防団に入りましょう。



所属 第7分団第1部

氏名 村上 耕

年令 18 歳

特技 野球

趣味 ドライブ

好きな女性のタイプ 小林麻耶

消防団に対しての希望

野球と両立して頑張ります  
のでよろしくお願いします。

先輩から一言

団員は少ない部ですが、  
楽しく活動していきましょう。



## ニューフェイス紹介

所属 第7分団第2部

氏名 鈴木 大夢

年令 19 歳

特技 スポーツ  
(バスケット)

趣味 音楽鑑賞、車

好きな女性のタイプ

思いやりのある人

消防団に対しての希望

これからの指導等よろしくお願いします。

先輩から一言

仲間がいっぱい増え楽しい事が  
多いので一緒にガンバロー!!



所属 第8分団第3部

氏名 金野 慎也

年令 23 歳

特技 料理

趣味 サーフィン

好きな女性のタイプ

小倉優子・久本雅美

消防団に対しての希望

出来るだけの事を一生懸命頑張  
りたい。

先輩から一言

消防は楽しいので、皆で頑張っ  
てやりましょう。



所属 第9分団第3部

氏名 鈴木 将太

年令 18 歳

特技 ボウリング

趣味 ドライブ

好きな女性のタイプ 優しい人

消防団に対しての希望

先輩方、いろいろと教えてください!!

先輩から一言

早く消防に馴染んで、一緒に頑  
張りましょう。



3年生 三浦 瑠仁くん



3年生 山口 菜穂ちゃん



2年生 大畑 美夕ちゃん



3年生 伊東 隼生くん



3年生  
金野  
光紗ちゃん



3年生 今野 泉奈子ちゃん

# 消防団員募集!!

消防団は、「自分たちの地域は、自分たちで守る」という郷土愛護の精神で活動し、地域における消防防災のリーダーとして、住民の安全と安心を守る重要な役割を担っています。

しかしながら、住民の連帯意識の希薄化や人口の過疎化、産業・就業構造の変化等に伴い、全国的に消防団員は減少しており、約二百万人いた消防団員が九十万人を割るという厳しい状況にあります。

## ◎消防団員の待遇

消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。普段は仕事をもちながら郷土愛護の精神によって活動しており、年額報酬や退職報償金、出勤手当が支給され、公務災害補償等が受けられます。

消防団に興味を持たれた方や、消防団への入団を希望する方は、地域の消防団員、または大船渡消防署・三陸分署・綾里分遣所にその旨をお伝え下さい。

## 連絡先

大船渡消防署…二七―二二一九  
三陸分署…四四―二二一九  
綾里分遣所…四二―二二一九



今年、1月21日に花巻温泉「ホテル千秋閣」において、岩手県消防協会が主催する平成19年度消防団長等幹部研修会が開催されました。

県下の団長、副団長等が一堂に会する研修会に、県外消防団体験事例発表で訪れた新潟県小千谷市の金子正男消防団長から発表の冒頭で、平成16年10月23日に発生した新潟県中越地震で小千谷市消防団にいち早く支援(食糧品提供)した大船渡市消防団に感謝の言葉をいただきました。

## 消防団員が救命率の向上へ!

第11分団第4部(三陸町越喜来浦浜地区)の消防団員9名が「応急手当普及員講習I」を修了しました。

日程は11月17日、18日、12月2日の3日間で合計24時間。応急手当の基礎知識、医学的基礎知識、外傷手当、止血法、固定法、AEDを含む心肺蘇生法などを学びました。



気仙地区では初めての資格取得となり、地域の救命率の向上につながるものと期待が高まります。

※応急手当普及員講習I…各事業所や自主防災組織などで心肺蘇生法、止血法、傷病者管理法、外傷の手当要領、搬送を指導できる。

講習時間…24時間



## 平成19年火災件数

平成19年1月1日～12月31日

建物火災	5件
林野火災	3件
車両火災	1件
船舶火災	1件
その他火災	2件
合計	12件
損害額	20,234千円

## 編集部より

今年の出初式は天候にも恵まれ、大勢の市民の方々の激励を受け、防災に取り組む決意を新たにしたいところです。

これから火災が発生しやすい時期になりますので、火の取扱いは十分注意してください。夜警巡回している消防車の鐘の音が聞こえたら、もう一度火の元の点検をしましょう。

今号で紹介しました子供たちが継続している防火活動を、消防団員一同心強く思っています。この未来の消防団員たちの活躍に期待したいと思います。

「消防団だより」も第九号になりました。さらに充実した広報誌にしたいと思っておりますので、ご意見ご要望などありましたら、団本部まで一報いただければ幸いです。



編集部(団本部)